

(別紙5)

整理番号 2024P-191
補助事業名 2024年度 検診車機器載せ替え 補助事業
補助事業者名 公益財団法人北海道対がん協会 会長 加藤 元嗣

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

胃肺併用X線デジタル撮影システムの機器載せ替えを行い、検診車の長寿命化を図り、医療過疎地を含めて北海道内を隈なく巡回し、がん検診の受診率、早期がん発見率の向上に努め、北海道民の健康の保持、増進に寄与することを目的としている。

(2) 実施内容

胃・肺併用X線デジタル検診車「しらかば204号車」の「胃胸部X線撮影システム」機器載せ替え整備実施

【当協会ホームページ内URL：<https://hokkaido-taigan.jp/about/report/keirin/>】

公益財団法人北海道対がん協会は、老朽化した胃・肺併用検診車の長寿命化を図るため、この度、公益財団法人JKAの「競輪公益資金による補助事業」により、整備事業費4,950万円のうち、3,712万5千円の補助を受け、令和7年3月7日に、胃・肺併用X線デジタル検診車「しらかば204号車の機器載せ替え整備」を実施し旭川がん検診センターに配置しました。

この検診車は、最新のデジタル撮影装置を搭載しており、画像の歪みやムラがなく鮮明になり、読影の精度が良くなることから、胃がん及び肺がんの早期発見が期待できます。

北海道対がん協会では、今後も北海道内を隈なく巡回し、北海道民の健康の保持増進に努めていきます。

〈車体外観〉



〈搭載機器〉

胃部レントゲン装置

胸部レントゲン装置



事業名	令和6（2024）年度検診車機器載せ替え整備事業
整備内容	胃肺併用X線デジタル撮影装置機器載せ替え
補助金額	37,125,000円
自己資金	12,375,000円
完成年月日	令和7（2025）年3月7日
車体	日野自動車（株）トラックシャーシ 「胃肺併用X線デジタル検診車しらかば204号」
架装	東京特殊車体（株）
X線装置	富士フイルムヘルスケア（株）ESPACIO AVANT

2 予想される事業実施効果

胃肺併用X線デジタル検診車の撮影システムの載せ替えにより、従来の撮影方式に比べ、画像の歪みやムラなく鮮明になり、読影の精度が良くなることで、早期がんの発見率の向上に繋がります。また、早期発見により、適切な治療を施すことができ、多くの方を救命できるようになります。

(別紙5)

3 補助事業に係る成果物

本事業に係わる印刷物等

○北海道対がん協会機関紙「しらかば」2025年7月発行予定

○日本対がん協会機関紙「対がん協会報」2025年6月発行予定



(原稿構成イメージ)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人北海道対がん協会

(コウエキザイダンホウジンホッカイドウタイガンキョウカイ)

住 所： 〒065-0026

北海道札幌市東区北26条東14丁目1番15号

代 表 者： 会 長 加藤 元嗣 (カイチョウ カトウ モトツグ)

担 当 部 署： 経営管理部総務課 (ケイエイカンリブソウムカ)

担 当 者 名： 総務課長 吉田 晃暢 (ソウムカチョウ ヨシダ アキノブ)

電 話 番 号： 011-748-5511

F A X： 011-748-5512

E - m a i l： sp-soumu@hokkaido-taigan.jp

U R L： <https://hokkaido-taigan.jp/>